

インフォメーションセンター 「エルムの森」

1月
採用

留学生スタッフ募集



任期

令和7年1月1日～令和7年6月30日

場所

インフォメーションセンター「エルムの森」（正門横）

時間

8:30-11:30、11:00-14:00、14:00-17:00（3交替制）

＊1人当たり週2～3回×3時間（特定の曜日・時間に従事）

給与

時給 1,060円～1,180円

業務
内容

- ①入館者への日本語、他言語（中国語もしくは英語等）による
応対・各種学内情報等の案内
- ②展示資料等の整理・整頓
- ③センター内の簡単な清掃作業
- ④その他、職員から指示された業務

採用
人数

5～6名程度

応募
資格

日本語での応対に加え、英語や中国語などの外国語での応対が
可能な外国人留学生
（北海道大学大学院修士課程1年または博士後期課程1、2年に
在籍していること）

応募
方法

希望者は応募書類（※）と学生証（両面写）・在留カード（両面写）を
法学研究科学事担当窓口に提出してください。
※応募書類は、学事担当で配付中（データで配付します）

応募締切：令和6年11月1日（金） 17時必着



YANMAR

募集要領



第35回 ヤンマー学生懸賞

論文・作文募集

～`農業、を`食農産業、に発展させる～

[募集期間] **2024年6月1日(土)～10月20日(日)** [入選発表会] **2025年2月7日(金)**

●論文の部 [大賞] **100万円** ●作文の部 [金賞] **30万円**

お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-376-530
(月～金 10:00～17:00)

e-mail
ronbun@yanmar.com

パソコンから

ヤンマー論文作文
<https://www.yanmar.com/jp/agri/agrilife/prize/>
ご参考として第30回～第34回の入賞作品集を掲載しております。

携帯から

QRコードにアクセスしてください >>>



■ヤンマーの目指す農業の姿

“農業”を“食農産業”に発展させる

ヤンマーは、より高い生産性・より低い環境負荷・より強い経済性を追求し、これまでの機械化・省力化・資源の有効活用に加え、「食」の分野からも生産物の付加価値を高めていきます。

また、今までに培ってきたテクノロジーとソリューションで、持続可能な農業を実現し、食の恵みを安心して享受できる社会をめざし、農業を魅力あふれる食農産業へ発展させていきます。

■事業開始の背景

ヤンマーは、日本農業の転換期を迎えていた1990年、厳しい時代にも21世紀への夢と希望を持ち、先駆的な挑戦を試みる元氣な農家やその集団が全国各地に誕生しつつあることを知り、「いま日本の農業がおもしろい〜その変化と対応〜」をスローガンとして、積極的に未来を語りエールを送ってまいりました。

その一方で、次世代を担う若者たちに農業と農村の未来について、自由な発想を論じてもらうことを趣旨として、「ヤンマー学生懸賞論文・作文募集事業」を開始いたしました。

■農業を取り巻く課題

農業が持続可能であり続けるために、今ある変化にどのように対応するかが重要な鍵となります。国連によると、現在約80億人の世界人口は、2050年には97億人まで増加する見込みです。また、近年の異常気象による農作物の不作が世界各地で報告されており、気候の変動は作物の生育に影響を与え、適期作業のタイミングが難しくなっています。日本の農業においても、高齢化や後継者不足が進み、離農が増加することで耕作放棄地が拡大し、農民生産量は減少傾向にあります。そんな中、平均経営耕地面積の大規模化など、いま農業を取り巻く環境は刻々と変化し、世界情勢が不透明な中、地球規模で様々な課題に直面しています。

あらゆる地域で経済発展を遂げ、人口が都市部に移動し、農業人口が益々減少していく中、少ない農民生産者が、増え続ける食料需要を賄っていくために、また、将来に向けて持続可能な未来（A Sustainable Future）を実現するために、現在の農業・食料生産の在り方そのものを進化・変革させていかなければなりません。

■趣旨

ヤンマーは、これまで追求してきた農業の「生産性」と「資源循環」を今後も継続し、更に高いレベルを目指すとともに、農業の儲かるかたち、農業や生産物そのものの付加価値を高める、「経済性」の追求にも取り組んでいます。第一次産業である農業は、人々の健康を守り命を育むために欠かせない大切な存在でありながら、利益を生み出しにくい構造となっています。農民生産の先にある加工、流通、消費に至る“フードバリューチェーン”に入り込み、広く、“農”や“食”に対する課題の解決策を提供したいとの思いから、生産物の付加価値を高めることで、「持続可能な農業のかたち」を次世代を担う若い皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

本事業も今年で35回目を迎えます。学生の皆様には、日本や世界の農業において直面する課題を捉え、持続可能な農業を実現するための新たな発想を広く自由な観点で論じ、夢と若さあふれる提言を数多くお寄せいただきたいと思えます。

論文の部：募集要領

上記趣旨に沿い、持続可能な農業の確立を目指した“先駆的挑戦”を内容としてください。農産技術、農芸化学、農業モデル（都会、中山間地、大規模平野、臨海地域）、新規ビジネスモデル、スマート農業、資源環境・自然科学・健康福祉・農と食のバリューチェーン・教育・流通との連携など、あなたが学習・研究しているさまざまな分野から独自の構想で提言し、その実現の過程、手法等を論理的に述べて下さい。また、今日の切り口として下記も参考にしてください。

〈参考〉

- 1) 高い生産性を誇る食料生産の実現
- 2) 安全・安心な食料生産と供給
- 3) 多様化する食ニーズへの対応
- 4) 持続可能な地球環境との調和
- 5) 6次産業化による生産者の経済性向上
- 6) 産地から食卓までを繋ぐ食のバリューチェーン確立
- 7) 健康福祉と農業の関わり
- 8) テクノロジーとサービスによるトータルサポートの創造

その他“将来の夢の農業”の創造・提案など、あなたの独自のテーマを設定して、論文にまとめて頂いても結構です。

1. 応募資格：2024年4月1日時点で、下記項目の全てに該当する方

1) 所属	右記のいずれかに在籍する学生 ※上記において全学部全学科対象。 ※外国への留学生、外国からの留学生も可。（国籍不問） ・大学 ・大学院 ・短期大学 ・専門職大学 ・農業大学校 ・農業短期大学 ・各種専門学校
2) 年齢	30歳以下 ※但し、外国からの留学生（日本国籍でない方）は35歳以下。
3) 前提条件	(1) 作品は本人のもので、かつ、未発表のものに限る。 ※同一作品を他へ発表（応募）予定している場合の応募は不可。 （ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。） (2) グループによる共同執筆可。 (3) 過去、論文の部入賞者の応募は不可。 (4) 過去、作文の部入賞者の応募は可。

2. 応募規定

1) 言語	日本語														
2) 作成ソフト	Microsoft Word ※PDFでの応募可。 ※手書き、紙原稿のスキャン不可。														
3) 用紙規格	A4サイズ 縦														
4) 書式	横書き														
5) 文字数 書体 文字サイズ	本文部分の総字数で、8,000字以上、12,000字以内とする。 他部分（表紙、要旨、目次、添付資料、データ・図表、参考文献等）の文字数は、総字数に含まない。 原則として、『横40文字×縦40行』のレイアウトとし、 用紙1枚あたり1,600字以内とする。 明朝体またはゴシック体で10.5～12ポイント														
6) 提出書類	<table><tr><td>(1) 要旨</td><td>A4サイズ 縦1枚に横書き、800字以上1,200字以内で作成すること。 （図表の使用は不可） ※冒頭に題名（作品タイトル）を明記すること。 ※氏名・学校名は記載しないこと。</td></tr><tr><td>(2) 論文原稿</td><td><table><tr><td>以下①～④を1つの文書ファイルにまとめること。 ※図・表・写真等も本文ファイル内へ貼り付け、別ファイルにしない。</td><td></td></tr><tr><td>① 目次</td><td>必ず目次をつけること。</td></tr><tr><td>② 本文</td><td>本文冒頭に題名（論文タイトル）を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。</td></tr><tr><td>③ 図表・写真等</td><td>原則として、本文中の適切な箇所へ挿入すること。 タイトルの記入位置は、図・写真の場合はその直下に、表の場合はその直上とする。 また原則として挿入の位置は、それらがレポート内の文章に最初に登場したページもしくはその次のページに入れること。 図・表の見やすさは、評価のポイントになるため、画質や精細に注意すること。 ※文字・数字は読めるサイズにし、必要場合は、カラーで提出すること。 （凡例データの多い棒グラフなど） DVD、ビデオ等の動画資料は不可とする。</td></tr><tr><td>④ 参考文献</td><td>参考文献のある場合は、「題名、著者名、出版社名、刊行年、参考頁」を明記した一覧を末尾に添付すること。</td></tr></table></td></tr></table>	(1) 要旨	A4サイズ 縦1枚に横書き、800字以上1,200字以内で作成すること。 （図表の使用は不可） ※冒頭に題名（作品タイトル）を明記すること。 ※氏名・学校名は記載しないこと。	(2) 論文原稿	<table><tr><td>以下①～④を1つの文書ファイルにまとめること。 ※図・表・写真等も本文ファイル内へ貼り付け、別ファイルにしない。</td><td></td></tr><tr><td>① 目次</td><td>必ず目次をつけること。</td></tr><tr><td>② 本文</td><td>本文冒頭に題名（論文タイトル）を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。</td></tr><tr><td>③ 図表・写真等</td><td>原則として、本文中の適切な箇所へ挿入すること。 タイトルの記入位置は、図・写真の場合はその直下に、表の場合はその直上とする。 また原則として挿入の位置は、それらがレポート内の文章に最初に登場したページもしくはその次のページに入れること。 図・表の見やすさは、評価のポイントになるため、画質や精細に注意すること。 ※文字・数字は読めるサイズにし、必要場合は、カラーで提出すること。 （凡例データの多い棒グラフなど） DVD、ビデオ等の動画資料は不可とする。</td></tr><tr><td>④ 参考文献</td><td>参考文献のある場合は、「題名、著者名、出版社名、刊行年、参考頁」を明記した一覧を末尾に添付すること。</td></tr></table>	以下①～④を1つの文書ファイルにまとめること。 ※図・表・写真等も本文ファイル内へ貼り付け、別ファイルにしない。		① 目次	必ず目次をつけること。	② 本文	本文冒頭に題名（論文タイトル）を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。	③ 図表・写真等	原則として、本文中の適切な箇所へ挿入すること。 タイトルの記入位置は、図・写真の場合はその直下に、表の場合はその直上とする。 また原則として挿入の位置は、 それらがレポート内の文章に最初に登場したページもしくはその次のページに入れること。 図・表の見やすさは、評価のポイントになるため、画質や精細に注意すること。 ※文字・数字は読めるサイズにし、必要場合は、カラーで提出すること。 （凡例データの多い棒グラフなど） DVD、ビデオ等の動画資料は不可とする。	④ 参考文献	参考文献のある場合は、「題名、著者名、出版社名、刊行年、参考頁」を明記した一覧を末尾に添付すること。
(1) 要旨	A4サイズ 縦1枚に横書き、800字以上1,200字以内で作成すること。 （図表の使用は不可） ※冒頭に題名（作品タイトル）を明記すること。 ※氏名・学校名は記載しないこと。														
(2) 論文原稿	<table><tr><td>以下①～④を1つの文書ファイルにまとめること。 ※図・表・写真等も本文ファイル内へ貼り付け、別ファイルにしない。</td><td></td></tr><tr><td>① 目次</td><td>必ず目次をつけること。</td></tr><tr><td>② 本文</td><td>本文冒頭に題名（論文タイトル）を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。</td></tr><tr><td>③ 図表・写真等</td><td>原則として、本文中の適切な箇所へ挿入すること。 タイトルの記入位置は、図・写真の場合はその直下に、表の場合はその直上とする。 また原則として挿入の位置は、それらがレポート内の文章に最初に登場したページもしくはその次のページに入れること。 図・表の見やすさは、評価のポイントになるため、画質や精細に注意すること。 ※文字・数字は読めるサイズにし、必要場合は、カラーで提出すること。 （凡例データの多い棒グラフなど） DVD、ビデオ等の動画資料は不可とする。</td></tr><tr><td>④ 参考文献</td><td>参考文献のある場合は、「題名、著者名、出版社名、刊行年、参考頁」を明記した一覧を末尾に添付すること。</td></tr></table>	以下①～④を1つの文書ファイルにまとめること。 ※図・表・写真等も本文ファイル内へ貼り付け、別ファイルにしない。		① 目次	必ず目次をつけること。	② 本文	本文冒頭に題名（論文タイトル）を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。	③ 図表・写真等	原則として、本文中の適切な箇所へ挿入すること。 タイトルの記入位置は、図・写真の場合はその直下に、表の場合はその直上とする。 また原則として挿入の位置は、 それらがレポート内の文章に最初に登場したページもしくはその次のページに入れること。 図・表の見やすさは、評価のポイントになるため、画質や精細に注意すること。 ※文字・数字は読めるサイズにし、必要場合は、カラーで提出すること。 （凡例データの多い棒グラフなど） DVD、ビデオ等の動画資料は不可とする。	④ 参考文献	参考文献のある場合は、「題名、著者名、出版社名、刊行年、参考頁」を明記した一覧を末尾に添付すること。				
以下①～④を1つの文書ファイルにまとめること。 ※図・表・写真等も本文ファイル内へ貼り付け、別ファイルにしない。															
① 目次	必ず目次をつけること。														
② 本文	本文冒頭に題名（論文タイトル）を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。														
③ 図表・写真等	原則として、本文中の適切な箇所へ挿入すること。 タイトルの記入位置は、図・写真の場合はその直下に、表の場合はその直上とする。 また原則として挿入の位置は、 それらがレポート内の文章に最初に登場したページもしくはその次のページに入れること。 図・表の見やすさは、評価のポイントになるため、画質や精細に注意すること。 ※文字・数字は読めるサイズにし、必要場合は、カラーで提出すること。 （凡例データの多い棒グラフなど） DVD、ビデオ等の動画資料は不可とする。														
④ 参考文献	参考文献のある場合は、「題名、著者名、出版社名、刊行年、参考頁」を明記した一覧を末尾に添付すること。														
7) 応募方法	弊社ホームページからの応募に限る。 ※紙での郵送は不可。 上記 提出書類（1）、（2）各ファイルを、応募申し込みサイトにアップロードすること。														



作文の部：募集要領

上記趣旨に沿った作文をまとめてください。あなたの感じていること、夢や思いを、これまでの体験やその時の情景を描写しながら作文にまとめてください。

1. 応募資格：2024年4月1日現在で、下記項目の全てに該当する方

1)所属	右記のいずれかに在籍する学生 — ☐ 農業大学校 ・農業短期大学 ※外国への留学生、外国からの留学生も可。(国籍不問)
2)年齢	25歳以下
3)前提条件	(1)作品は本人のもので、かつ、未発表のものに限る。 ※同一作品を他へ発表(応募)予定している場合の応募は不可。 (ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。) (2)過去、作文の部入賞者の応募は不可。 (3)過去、論文の部入賞者の応募は不可。

2. 応募規定

1)言語	日本語
2)作成ソフト	Microsoft Word ※PDFでの応募可。 ※手書き、紙のスキャン不可。
3)用紙規格	A4サイズ 縦
4)書式	横書き
5)文字数 書体 文字サイズ	総字数で、2,800字以上3,200字以内とする。 原則として、『横40文字×縦40行』のレイアウトとし、 用紙1枚あたり1,600字以内とする。 明朝体またはゴシック体で10.5～12ポイント
6)提出書類	(1)作文原稿 本文冒頭に題名(作文タイトル)を記載する。 ※氏名・学校名は記載しないこと。 ページ数を打つこと。 ※ページは文字数に含まない。
7)応募方法	弊社ホームページからの応募に限る ※紙での郵送は不可 上記(1)を応募申し込みサイトにアップロードすること。



募集期間・発表

募集期間	2024年6月1日(土)～10月20日(日)23:59までにエントリー
結果発表	【入賞者決定(社内審査会)】 2024年12月18日(水) 予定 社内審査会で決定後、12月20日(金)までに入賞者本人へ通知予定 【入選発表会開催予定】 2025年 2月7日(金) 集合形式にて開催予定 ※開催場所は決定次第関係者にご連絡。 【入賞結果掲載・落選結果通知】 2025年 2月下旬 を予定 弊社ホームページに入賞者一覧を掲載 ※落選結果通知は、本人への応募記念品の発送をもって替えさせていただきます。

* 論文の部 入選者の方へ

入選発表会会場にて、論文の内容をまとめたパネルを展示いたします。
入賞通知を受けた方は次の要領にて、パネル用資料を作成願います。
詳細は入賞者本人へ改めてご連絡いたします。
入選発表会がオンライン開催となった場合は、作成不要です。

1)提出期間	入賞通知後～2025年1月17日(金) ※メールにて事務局まで送付してください。
2)対象となる資料	論文要旨、論文内で使用したデータ(図、表、グラフ、写真等) ※論文内で使用していないデータは対象となりません。
3)パネル用資料 作成要領	Microsoft WordのA4サイズ 縦、横書きで2ページとします。 1ページ目に論文タイトル・学校名・氏名・論文要旨を記載。 2ページ目に論文内で使用した図表を貼付けしてください。 ※作成いただいた資料を事務局にてA1サイズのパネルに加工いたします。
4)文字サイズ	12～16ポイント



表彰・賞金

論文の部

賞	受賞数	賞金	贈呈品
大賞	1編	100万円	表彰楯
特別優秀賞	2編	30万円	表彰楯
優秀賞	10編	10万円	表彰楯

作文の部

賞	受賞数	賞金	贈呈品
金賞	1編	30万円	表彰楯
銀賞	2編	10万円	表彰楯
銅賞	10編	5万円	表彰楯
奨励賞	15編		賞状、記念品

※論文の部グループ応募の場合、表彰楯は代表者に1枚、グループメンバーには表彰状を贈呈いたします。
※入賞されなかった場合も、応募資格・応募規定を満たした方には、応募記念品をお送りいたします。



審査方法

事務局審査	事務局による審査(応募資格、応募規定、類似・剽窃等の審査)
社内審査 (一次・二次)	弊社内選考委員による内容審査 ・入賞作品(論文・作文各13編)の選出 ・作文の部 奨励賞の決定 ※発表は入選発表会の開催後
最終審査	最終審査委員による審査 ・各賞の決定 ・論文の部については、最終審査委員による簡単なインタビューを実施予定



最終審査委員(五十音順、敬称略)

● 植松 千代美(うえまつちよみ)氏 [専門/植物育種学・環境教育]

東北大学大学院農学研究科修士課程修了、農学博士。明治大学農学部実験助手補、植物工学研究所の博士研究員を経て、1991年より大阪市立大学附属植物園に勤務。助手、講師、准教授を経て2022年3月退職。日本学術振興会より「ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞」受賞。植物園を利用した教育実践により大阪市立大学(現大阪公立大学)教育後援会より優秀教育賞受賞。現在は絶滅危惧種のイワヤマナシ(ミチノクナシ)保全のため岩手県にいわてやまなし研究所設立準備中。主な著書に『食環境科学入門 食の安全を環境問題の視点から』(ミネルヴァ書、共著)、『都市・森・人をつなぐ〜森の植物園からの提言』(京都大学学術出版会、編著)などがある。

● 大杉 立(おおすぎりゅう)氏 [専門/農学]

東京大学農学部卒業、農学博士。農林水産技術会議事務局研究調査官、農業生物資源研究所光合成研究室長、農林水産技術会議事務局研究開発官を経て、2001年より2016年まで東京大学大学院農学生命科学研究科教授。同大学院農学生命科学研究科特任教授を経て、現在ハッピ中央農業実践大学校長、および東京農業大学客員教授、日本学術会議選挙委員、(一社)日本農学会会長、日本農学アカデミー副会長。これまでに、日本作物学会賞などを受賞。日本作物学会会長、総合科学技術会議革新技術推進アドバイザーなどを務める。主な著書に『作物学(朝倉農学体系10)』(朝倉書店、共著)、『作物生産生理学の基礎』(農山漁村文化協会、共著)などがある。

● 近藤 直(こんどう なおし)氏 [専門/農業工学]

京都大学大学院農学研究科修士課程修了(農業工学専攻)、農学博士。岡山大学助手、助教授、愛媛大学教授などを経て、2007年より京都大学大学院農学研究科教授。これまでに、アメリカ農業工学会功績賞、農業機械学会賞学術賞、同学会森技術賞、日本生物環境調節学会賞(学術賞)、(一財)日本機械学会ロボメカ部門技術業績賞、農林水産省農業技術功労者表彰、日本農工学会賞、日本農学賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、(公社)大日本農会緑白線有功章などを受賞。主な著書に『農業ロボット(I)(II)』(コロナ社)、『生物生産工学概論—これからの農業を支える工学技術—』(朝倉書店)、『Physical and Biological Properties of Agricultural Products』(京都大学出版)、『農業食料工学ハンドブック』(コロナ社、いずれも共著)などがある。

● 佐藤 年緒(さとうとしお)氏 [専門/環境・科学技術]

東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程修了、博士(学術)。(株)時事通信社の記者、編集委員として地方行政や科学技術、地球環境や水問題を報道。2003年退社後、国立研究開発法人 科学技術振興機構発行の科学教育誌「Science Window」編集長などを経て、現在、環境・科学ジャーナリスト、日本科学技術ジャーナリスト会議理事。著書に『森、里、川、海をつなぐ自然再生』(中央法規)、『つながるいのち—生物多様性からのメッセージ』(山と溪谷社、いずれも共著)などがある。

● 生源寺 眞一(しょうげんじ しんいち)氏 [専門/農業経済学]

東京大学農学部卒業、農林水産省農事試験場研究員・同北海道農業試験場研究員、東京大学農学部助教授・同教授、名古屋大学農学部教授を経て、2017年4月に福島大学教授(食農学類準備室長)。2019年4月から2023年3月まで同食農学類長。現在は日本農業研究所研究員、東京大学名誉教授、福島大学名誉教授。このほか、認定NPO法人樹恩ネットワーク会長、全国町村会地域農政未来塾塾長、NPO法人中山間地域フォーラム会長など。これまでに東京大学農学部長、日本農業経済学会会長、日本学術会議会員も務める。近年の著書に『農業と農政の視野』(農林統計出版)、『農業がわかると、社会のしくみが見えてくる』(家の光協会)、『農業と人間』(岩波書店)、『「いただきます」を考える』(少年写真新聞社)などがある。

応募先アドレス

ホームページ

<https://www.yanmar.com/jp/agri/agrilife/prize/>

よりご応募ください。

権利関係について

- 応募にあたり記入頂いた個人情報、本懸賞にかかる審査及び審査結果の通知並びにこれらに付随する行為のために利用します。本目的以外で利用する場合は、必ず本人の同意を得たものに限りします。
- 応募作品に応募者の学校での研究内容等を反映する場合、予め指導教官等関係者の了承を得たものに限りします。
- 本懸賞にかかる入賞者のいかなる権利も、第三者に譲渡することができません。
- 応募作品のデータは返却しませんので、必要な方はファイルをお手元に保存するようお願いいたします。
- 応募作品の著作権は著作権本人に帰属します。ただし、入賞者は主催者に対し、応募作品が入賞した時点（入賞者に対し主催者が入賞の連絡をした時点）で下記について許諾するものとします。また、入賞者は、主催者の事前の書面による承諾なく、主催者以外の第三者に入賞作品を利用させることはできないものとし、また、他の懸賞又はコンテスト等に入賞作品を応募することはできないものとします。
- (1)入賞作品を入賞作品集として編集し、①入賞者、学校、後援団体、審査委員等、その他関係各所へ無償配布すること、②翌年度の本懸賞広報活動用として全国の大学、図書館等へ無償配布すること、③弊社ホームページ上で2025年4月から5年間掲載すること
- (2)本懸賞を広報するため印刷物やホームページで利用すること
- 主催者ホームページ、入賞作品集及び翌年度の本懸賞の募集要領その他懸賞の広報資料にて、入賞者の学校名、学部、学年及び氏名を公表するとともに、顔写真を掲載します。入賞者は、入選発表会において主催者が撮影した入賞者の肖像が含まれる画像、動画及びインタビュー内容等について、主催者ホームページ、入賞作品集等で使用することに同意するものとします。

問い合わせ先

- フリーダイヤル 0120-376-530 (月～金 10:00～17:00)
- メールアドレス ronbun@yanmar.com
- 事務局 〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
ヤンマーアグリ株式会社 人事総務部内
ヤンマー学生懸賞論文・作文募集事務局
- ホームページ <https://www.yanmar.com/jp/agri/agrilife/prize/>
参考として第30回～第34回の入賞作品集を掲載しております。

主催・後援

主催：ヤンマーアグリ株式会社

後援：農林水産省

一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構

公益社団法人 大日本農会

●一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構

グリーン・ツーリズム等の取組みにより培ってきたノウハウと人的ネットワークを活かした中間支援組織として、都市と農山漁村の交流促進を通じた農山漁村活性化支援、都市農村交流の情報収集・発信、農林漁業体験民泊の登録等を行っている。(2001年、農林漁業体験協会、ふるさと情報センター及び21世紀村づくり塾の3財団法人の合併により設立。2013年4月より一般財団法人に移行。)

●公益社団法人 大日本農会

明治14年に設立されたわが国で最も歴史ある全国的な農業団体。設立当初から皇族を総裁としていただいております。現在は、七代目として秋篠宮皇嗣殿下を総裁に推薦している。農業の発展及び農村の振興を図ることを目的に、農事功績者表彰事業、農業・農村に関する調査研究事業、会誌「農業」の刊行等を行っている。2011年7月1日、内閣府より「公益社団法人」に認定。

（前年）第34回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集入賞（敬称略）

論文入賞者（代表者）

大賞	
早川 蛍	東京農業大学／国際食料情報学部
特別優秀賞	
村添 斗志緒	鹿児島県立農業大学校／畜産学部
成田 響子	拓殖大学／国際学部
優秀賞	
藤田 真心	宮崎産業経営大学／経営学部
上原 杏子	長野県立大学／グローバルマネジメント学部
鶴喰 咲里奈	鹿児島県立農業大学校／畜産学部
東海林 蓮	東京農工大学／農学部
平山 巧	九州大学大学院／生物資源環境科学府
白田 環暉	八戸学院大学／地域経営学部
加藤 健人	東京農業大学／生物産業学部
柚木 沙都	摂南大学／農学部
甲斐 宏行	京都大学大学院／公共政策教育部
宮内 菜々	鹿児島県立農業大学校／畜産学部

作文入賞者

金賞		奨励賞	
中村 太耀	岩手県立農業大学校／農産園芸学科	外園 龍斗	鹿児島県立農業大学校／畜産学部
銀賞		赤崎 基輝	鹿児島県立農業大学校／畜産学部
榊田 心音	福島県農業総合センター農業短期大学校／農業経営部	佐藤 明日美	愛知県立農業大学校／教育部
末永 清十郎	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	佃 隆太	鹿児島県立農業大学校／畜産学部
銅賞		齊藤 花恋	岩手県立農業大学校／農産園芸学科
永島 愛莉	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	黒崎 蓮	栃木県農業大学校／農業生産学部
金山 大樹	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	吉村 愛実	栃木県農業大学校／農業生産学部
福元 好誠	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	鳴原 直央	福島県農業総合センター農業短期大学校／農業経営部
大窪 翼	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	関根 海斗	福島県農業総合センター農業短期大学校／農業経営部
石倉 琉星	岩手県立農業大学校／畜産学科	西村 舞奈	山形県立農林大学校／野菜経営学科
白坂 光太郎	福島県農業総合センター農業短期大学校／農業経営部	高木 景生	福島県農業総合センター農業短期大学校／農業経営部
原田 あやの	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	首藤 理杏	愛知県立農業大学校／教育部
上野 朝陽	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	山内 希	鹿児島県立農業大学校／農学部
前田 むつ	鹿児島県立農業大学校／畜産学部	立木 美愛	鹿児島県立農業大学校／農学部
BUI NHU LOC	鹿児島県立農業大学校／農学部	大西 加奈	長崎県立農業大学校／園芸学科

※同一賞は応募受付順に記載しております。
※弊社のホームページ(<https://www.yanmar.com/jp/agri/agrilife/prize/>)には、第30回～第34回の入賞作品集を掲載しております。

受賞者の声

第34回「論文の部」大賞

早川 蛍さん



①応募のきっかけは？

大学で取り組んだ研究や活動を、後輩につなげるために文書の形で残したいと考え、ヤンマーの懸賞論文に応募してみようと思いました。

②執筆で苦労した点は？

規定文字数内に書きたいことを収めることに苦労しました。また初めての共同執筆だったため、意見の食い違いなどもありましたが、互いに意見を出し合いながら執筆しました。

③賞金の使い道は？

通帳を見た時は驚きました！後輩との人数での懇親会や、社会人としての新生活に役立てています。

④応募を検討している学生にメッセージを！

入賞してもしなくても、自分が取り組んできたことが、論文として形に残ることはとても良いよ！と伝えたいです。著名な先生方に自分の論文を審査、評価していただくことは貴重な経験になりました。是非チャレンジしてみてください！

学生等震災特別相談窓口のご案内

厚生労働省では、令和6年能登半島地震により就職活動に影響を受けた、または採用内定の取消し等にあった学生・生徒のみなさまの相談に対応するための特別相談窓口を、金沢新卒応援ハローワークに設置しました。

また、中学・高校の生徒・学校関係者等のみなさまは、最寄りのハローワーク等でも相談を受け付けております。

【 支援メニュー 】

● 震災の影響により就職活動に影響を受けた方の相談

（交通手段が遮断され会社の指定した入社日に出社出来ない、内定先との連絡が取れない、エントリーシート等の提出や採用選考活動への参加が出来なくなったなど。）

● 震災の影響により採用内定の取消し等を受けた方の相談

（会社から、採用内定を取消すと言われた、しばらく入社は待ってくれと言われた、採用はするがしばらく家で待機していて欲しいと言われたなど。）

などの就職についての相談を受け、希望を伺いながら、事業主への確認、就職支援ナビゲーターによるマンツーマンの就職相談を実施します。

学生等震災特別相談窓口 設置場所

金沢新卒応援ハローワーク

石川県金沢市石引4-17-1 石川県本多の森庁舎1階

Tel.076(261)9453

（開庁時間：平日9:00～18:00）

※電話・オンライン（ZOOM）でも相談できます。

オンライン相談については利用方法を御案内しますので、御希望の方は電話にて御連絡ください。

※相談は全国の新卒応援ハローワーク、ハローワークでも受け付けています。
所在地は裏面をご覧ください。



金沢新卒応援ハローワーク
(建物1階右側奥)

金沢医療センター
出羽町
飛梅町
愛育会 松原病院
本多の森ホール
石川県立 能楽堂
石川県立 歴史博物館
石川県立 美術館
石浦神社
兼六園
金沢神社
広坂
しいのき 迎賓館
金沢 21 世紀 美術館
金沢市役所
金沢歌劇座
寺町→

アクセスマップ



札幌で毎月受験できる

IDPでは
リスニングテストに
ヘッドフォン導入!

必ず実現する私の留学



グローバルに活用できる英語4技能試験

IELTS

IDPは夢に向かって頑張る受験生を応援していきます

IELTS受験は  idpの会場で

IDP IELTS

検索



@Japanielts

LINE @

最新情報
配信中



試験日程
会場検索



特別特典

IELTSエキスパート
小谷延良先生による
5時間分のIELTS対策動画
90日間見放題!

マッコーリー大学監修の
IELTSオンラインコース
1技能30日間 **受講**
または **放題!**
4技能4日間

専門の採点官が弱点を指摘!
ライティング添削サービス
「ライティング・アシスト」
通常\$39 無料!



IELTSの試験対策をはじめるなら、 IDPの豊富な『目的別対策ツール』を今すぐチェック！

だれでもすぐに無料で活用できる対策ツール

01



エキスパートからの
アドバイス満載

**IELTS
対策ブログ**



デモ画面で
サンプル問題を解く

**コンピューター形式
受験対策**



Tips動画や記事
All Englishの試験対策

IELTS Prepare



IELTS専門家からフィードバックがもらえる有料対策ツール

02



スピーキング評価基準にそった
フィードバックがもらえる
オンラインコーチング

IELTS Speaking Coaching



想定バンドスコアがわかる
コンピュータ形式の
公式模擬試験

IELTS プロGRESS・チェック



IDPでIELTSを申込後のスペシャルな無料特典

03



5時間分の『見る』参考書
90日間見放題！

**スペシャル
レクチャー**
By 小谷延良先生

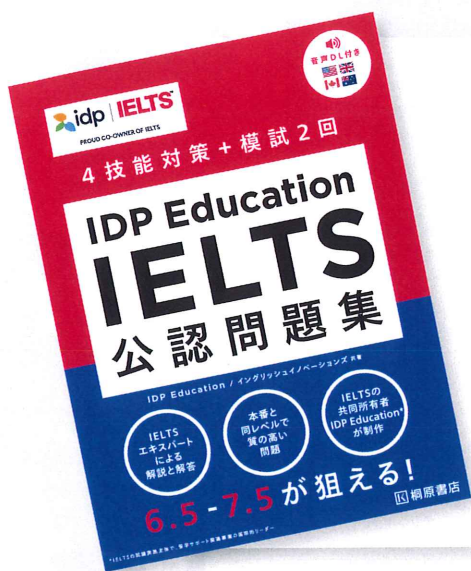


オンラインコース
By マッコリー大学



評価基準に沿った
フィードバックがもらえる
添削サービス

**IELTS
Writing Assist**



IELTSに挑戦する皆さんを応援する1冊

IDP『IELTS公認問題集』 3,520円(税込)

- 練習問題や実践問題に加え、完全模試を2回分収録
- 海外の大学入学要件として一般的な「オーバーオール6.5以上」を目指す内容
- IELTSエキスパートが読者に寄り添うアドバイスが豊富
- 図やイラストつきで読者にわかりやすく、親しみやすい



ご購入は書店またはオンラインで！

20歳になると、国民年金への加入が法律により義務付けられています。

＼納付が困難なときに！／

学生納付特例制度

学生の味方！



どんな制度？



20歳以上の学生で、所得が少なく保険料を納めることが困難な場合、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

対象は？



大学（大学院・短期大学を含む）や専門学校、夜間学校、通信制の学校等。

詳しくはHPをご覧ください。

日本年金機構

検索

安心！

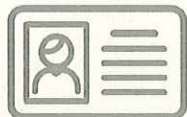


「もしも」のときに！

申請が遅れると、保障が受けられない場合があります。

学生納付特例が承認されますと、学生納付特例期間中にケガや病気で障害が残ったまたは死亡した場合、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられます。

簡単！



手続きが簡単です！

申請書に学生証のコピーを添付して提出するだけ。

20歳になれば、約2週間以内に「国民年金加入のお知らせ」や学生納付特例制度の申請書*などが届きます。

※ 申請書は日本年金機構ホームページでも入手できます。

便利！



在学予定の記入で翌年度が便利に！

次回からは、申請書ハガキに必要な事項を記入し、提出するだけ。

（切手不要）

初めて申請する際、翌年度以降も在学予定の方は「在学予定期間」を記入されますと、次回（翌年度）からは「申請書ハガキ」と「手続きのお知らせ」をお送りします。



マイナポータルから学生納付特例申請ができます！

スマホ、マイナンバーカード、学生証があればいつでもどこでも申請できます！処理状況も申請結果も確認できます！

■ 学生納付特例事務法人について

在学中の学校等が学生納付特例の代行事務を扱う法人として指定を受けている場合は、学生納付特例申請書を学校等へ提出できます。

お問い合わせ先 市(区)役所、町村役場の国民年金の窓口または年金事務所

マイナポータルとねんきんネットをつなげると、もっと便利です！

日本年金機構からのお知らせをマイナポータルで受け取れます。

年金記録を確認できます。

将来の年金見込額を試算できます。



日本年金機構

Japan Pension Service

ハピぼん×みらチャレ

「ほっかいどう未来チャレンジ基金」への
古本募金の仕組みによるご協力のお願い

**古本募金「ハピぼん」で、意欲と能力のある
道内の若者たちの海外挑戦の応援にご協力ください！**

平成28年12月、北海道から海外へ挑戦する若者の海外留学を応援する
「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を創設しました。

この基金を活用して安定的に事業を展開するため、道と古本募金「ハピ
ぼん」がタイアップし、皆様の不要になった古本等を提供いただき、その
買取代金を基金に寄附する取組を行っています。

この取組は「札幌買取一番」を運営する「合同会社NORTH CREATE」
の社会貢献活動である古本募金ハッピープロジェクト「ハピぼん」を利用
するものです。



古本募金
ハッピープロジェクト



ほっかいどう
未来チャレンジ
基金

「ハピぼん × みらチャレ」の仕組み

参加者へのお願い

ハピぼんHPのお申込み
フォームから申込む

読み終わった本など一定数集
まったらハピぼん
HPから申込み



※支援先を北海道未来人材応援基金
(愛称：ほっかいどう未来チャレン
ジ基金)に指定してください。

「ハピぼん」の作業

集荷業者を派遣

日本郵便などへ着払いで
集荷を手配



※ドライバーさんがご希望の日時に
集荷に伺います

「ハピぼん」の作業

買取額全額を
みらチャレに寄附

ハピぼんが買取額の全額を
ほっかいどうチャレンジ基
金に寄附

※買取できない本は、
福祉施設等に無償提供 or 古紙処理

特に望ましい書籍等

- ・販売日から新しいもの（発刊後半年以内）
- ・見た目がきれい、美品、ゲームソフトなど
- ・書き損じたはがき、年賀状など



買取が難しい書籍等

- ・保存状況の悪いもの（書き込み、破損など）
- ・古いマンガ本や雑誌など



古本やDVD等について

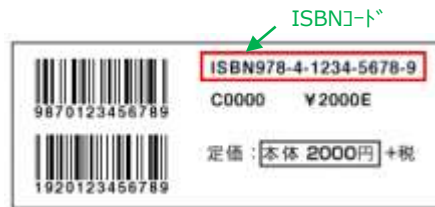
買取できるもの

託送費用をハピぼんが完全負担しているため、値が付けられない、または値が低い古本等が多い場合は、託送費用が商品価値を上回り、送料無料サービスの維持に支障がでることも考えられます。

つきましては、このような事情をご賢察いただき、高値で買取することができるような古本等（発刊後半年以内の書籍や劣化しにくいゲームソフト等）のご提供について、ご配慮をお願いします。

書き損じハガキ、未使用切手も買い取り可能です！

- ① 本～ISBNコード（国際標準図書番号）があるもの
（専門書、文芸書、文庫本、新書、児童書、絵本など）
- ② DVD、CD、ゲームソフト～JANコード（バーコード）があるもの
- ③ 書き損じハガキ
- ④ 未使用切手



買取できないもの

- ① 本～ISBNコード（国際標準図書番号）がないもの
- ② DVD、CD、ゲームソフト～JANコード（バーコード）がないもの
- ③ 百科事典 ④ 個人出版の本 ⑤ マンガ雑誌
- ⑥ コンビニコミック（表紙カバーのないコンビニでよく販売されるマンガ：再出版作品が多い）
- ⑦ 表紙カバーがない本 ⑧ 汚れ・キズがひどいもの ⑨ 異臭が染みついているもの
- ⑩ 変色・変形・破損しているもの ⑪ 週刊誌 ⑫ 非売品 ⑬ 多数の書き込みがあるもの
- ⑭ ケースのないDVD/CD/ゲームソフト（ジャケットやリーフレット・ブックレット等がないもの）
- ⑮ VHS・ビデオテープ・レコード
- ⑯ 汚れたり、き損した郵便切手や料額印面（はがきの料金を表す部分）

- ① 販売日から新しいもの（発刊後半年以内の書籍を高額買取）
- ② 見た目がきれい、新品同様、美本、ゲームソフト等
- ③ 買取できないものはないか再チェック



高額買取のために
考慮するポイント！

お知らせ

「ハピぼん×北海道」のタイアップによる「ほっかいどう未来チャレンジ基金」への寄附に関し、古本等をご提供していただいた方々につきましては、**税法上の寄附金控除の対象とはなりません**ことをご了承願います。

古本募金「ハピぼん」について

詳しくは、古本募金「ハピぼん」ホームページをご覧ください。

<https://hapibon.com/>



古本募金
ハッピープロジェクト

ハピぼん

検索

ほっかいどう未来チャレンジ基金のホームページ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/mirai-jinzai.htm>

ほっかいどう未来チャレンジ基金

検索



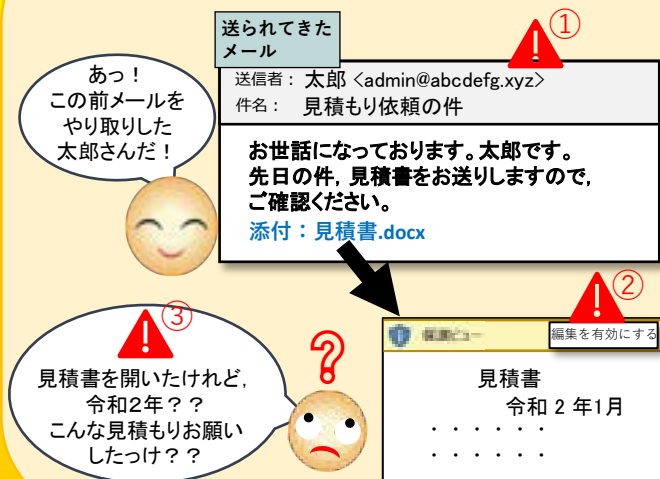
公式Facebookページ
みらチャレ

留学生達のチャレンジ風景
をお届けします。



迷惑メールにご注意

ケース1：マルウェア付きメール …傾向と注意点



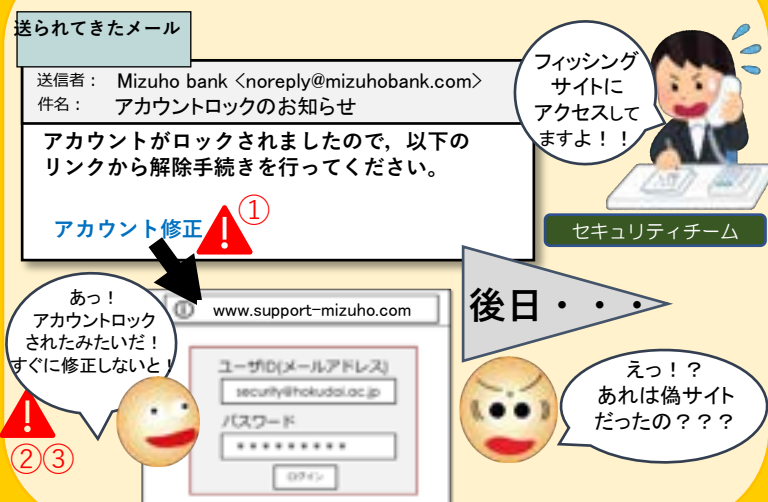
実際にやり取りしたメールが盗まれて、その返信としてマルウェア付きメールを送ってくることがあります。このケースでは見積書を開き「編集を有効にする」ボタンを押すとマルウェアに感染する可能性があります。また、ウイルス対策ソフトの監視を回避する、パスワード付きzipファイルが添付されたメールも観測されています。

送信者をよく確認しましょう。送信者の表示名とメールアドレスが矛盾していませんか？左のケースではメールアドレス部分が見知らぬアドレスになっています。

WORD, EXCELファイルは開くと「編集を有効にする」ボタンが出ることがありますが、絶対安全と確認できるまで押してはいけません。

そもそも、最近見積もり依頼をしましたか？

ケース2：フィッシングメール …傾向と注意点



Amazonや銀行、本学のメール管理者などを装う送信元から頻繁にフィッシングメールが来ています。パスワードの入力画面は非常に巧妙なので、判別はとても難しいです。

リンク先(**http**～)が隠れていますが、不審なリンクではないか？また、リンクを開いた先を、ブラウザの上の方にあるアドレス欄で確認しましょう。

本当にアカウントがロックされているか、メールに書かれたURLでなく、正式なホームページなどからアクセスして確認してみましたか？

そもそもそのサービスは、利用しているサービスですか？

- ・不審なファイルを開いてしまった。
- ・不審なリンクをクリックしてしまった。

この場合、以下の対応をお願いします。

1. パソコンのネットワークを切断
(LANケーブルを抜く, WiFiをOFF(機内モード)にする)
2. PCの電源は切らないで、情報セキュリティ担当にすぐ連絡

【インシデント連絡先】

情報企画課 情報セキュリティ担当
e-mail: security@oicte.hokudai.ac.jp
Ext. 3466

【情報セキュリティ対策室ホームページ】
<https://www.security.hokudai.ac.jp/>

ALERT ON SPAM MAILS

CASE1 : E-mail with malware ...Trend and Attention

Oh, Taro!
I've exchanged
mails to him
before.

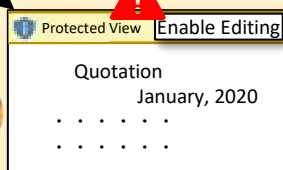
Received E-mail

Sender : Taro <admin@abcdefg.xyz>
Title : About Quotation

Hello! This is Taro. Regarding that
matter, I send a Quotation.
Please check it!

Attached : quotation.docx

The Quotation
opened...
2020 year ?!
Did I do it ???



Cyber attackers might get a legitimate email by your acquaintances as well as the administrators. After that, they would RE-USE it to get your trust, WITH MALWARE..

In this case, it infects your PC just after you open the attached file or press "Enable Editing" button. We have also observed emails with password-protected zip files attached to avoid antivirus software monitoring.

Check the sender very carefully. Is the sender's display name and email address inconsistent?

In the example, the part of email address is inconsistent.

When you open Word or Excel attached file, **you can click "Enable Editing" ONLY IF** you could surely confirm its safety.

Have you ever requested a quote to him at all?

CASE2 : Phishing E-mail ...Trend and Attention

Received E-mail

Sender : Mizuho bank <noreply@mizuho.bank.com>
Title : Warning! Your Account is locked

Your Account is locked.
You can unlock it
from the following link.
Unlock your account.

You
accessed
Phishing
website!

Security Team

After days...

Oh! My account
is locked.
I have to fix it
soon!

www.support-mizuho.com

User ID (E-mail)	security@hokudai.ac.jp
Pass Word	*****
login	

Wow?!
That was
Phishing
website?!

Phishing emails often come from fake senders, pretending Amazon, a bank, email administrator in Hokkaido Univ. and so on. Phishing websites seem WELL configured, thus it is very hard to distinguish it from the original.

This Link has a hidden URL (http...), is it an original link or not? You can check the URL in the address field at the top of your browser.

Have you tried to check if your account is really locked by accessing it from the official website instead of the URL written in the email?

Is the service you using in the first place?

- Opened suspicious file!
- Clicked suspicious link!

In such cases, please do the following:

1. Disconnect your PC from Campus Network.
(Plug off LAN cable or Turn off WiFi(or Set Airplane mode))
2. Never Shutdown and Power off your PC, and
Get **Immediate** Contact with Information Security Team.

【Contact Desk】

Information Security Team
e-mail: security@oicte.hokudai.ac.jp
Ext. 3466

【ICT Security Office Website】

https://www.security.hokudai.ac.jp/

(別添)

法テラス

合同電話相談窓口を法テラスが引き継ぎ、
より多くの方々のお問合せに対応します！

靈感商法等対応ダイヤル



0120-005931

受付時間 9:30~17:00 (平日)

※ 海外からのお問合せは、050-3383-0010 (有料)



靈感商法に限らない金銭的トラブル、心の悩み、家族の悩み、修学、就労、生活困窮など、

「旧統一教会」問題やこれと同種の問題でお悩みの方、
まずはお電話ください

※ 「旧統一教会」問題に限らず、これと同様のお悩みを抱えている方々からの相談を幅広くお受けします
※ お悩みに応じた相談窓口をご案内します

※ 経済的に困りで法的トラブルをお抱えの方は、法テラスによる無料法律相談や弁護士費用等の立替え
をご利用することがあります

様々なお悩みに対応

連携機関等

内閣官房

警察庁

消費者庁

総務省

法務省

文部科学省

厚生労働省

外務省

日本弁護士
連合会

孤独・
孤立

犯罪被害

消費者
トラブル

行政相談

人権問題

いじめ・
修学

児童虐待・
生活困窮・
就労・心の健康

在外邦人

法的問題

お悩みに応じて、こんな相談窓口もご利用できます

警察相談専用電話

(# (シャープ) 9110)

各都道府県警察本部・警察署にお
ける相談窓口



犯罪による被害等の
相談を受け付けます！

消費者ホットライン いやや

(188)

消費者トラブルに関する相談を
受け付けます！

高価な物品を買わされたが
取り消せないか 等



みんなの人権110番

(0570-003110)

人権についてのお悩み
何でも受け付けます！

人権イメージキャラクター



- 差別を受けた
- いじめを受けた
- ネットで誹謗中傷された 等

人KENまもる君

人KENあゆみちゃん

行政相談「きくみみ」

おこまりなら まる まる くじょー ひやくとおぼん
(0570-090110)

どこに相談してよいか分からない
お困りごとは行政相談へ！
関係機関を案内します。



行政相談マスコット
「キクーン」

電話で行政相談センター

きくみみ

困ったら
一人で悩まず
行政相談！

在外公館 (大使館、総領事館)

海外にお住まいの方は、
最寄りの在外公館にお
問合せください。



日弁連無料法律相談 受付専用フリーダイヤル

(0120-254992)

靈感商法や宗教問題に
関する法的な悩み事
について、弁護士が相談
をお受けします。



オンライン受付
(24時間)

※相談方法や対応時間は、各相談窓口により異なります。詳しくは各相談窓口のホームページをご覧ください。

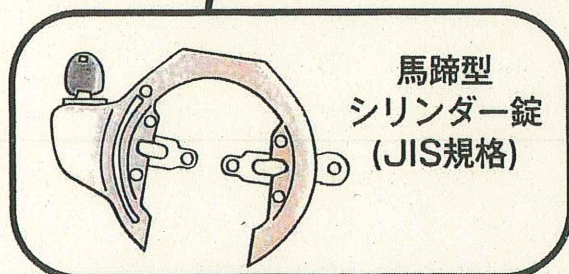
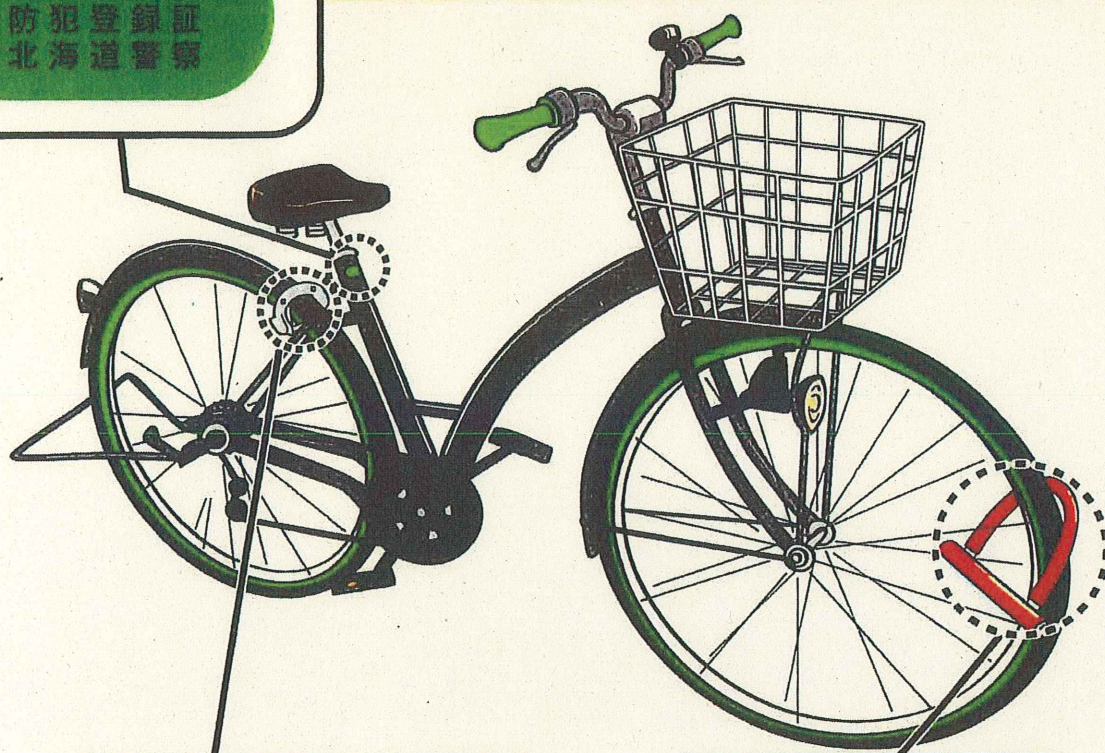
自転車には

防犯登録と

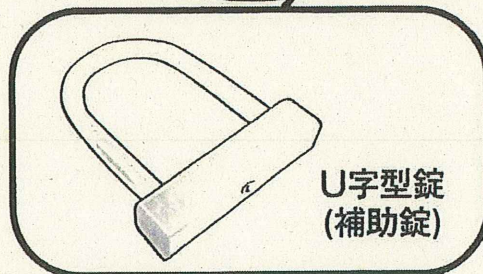
ツーロック

E000000

防犯登録証
北海道警察



馬蹄型
シリンダー錠
(JIS規格)



U字型錠
(補助錠)

**自転車の防犯登録は法律で
義務付けられています。**

※自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律
通称 自転車法 第12条(自転車等の利用者の責務)

(公財)北海道防犯協会連合会・北海道警察

附属図書館本館及び北図書館の開館時間変更について

(通知)

附属図書館本館及び北図書館は、本学の行動指針（BCP）に基づき、毎日閉館後に消毒作業を行うなど感染拡大防止に配慮した上で開館してまいりましたが、現在の学生動向を考慮し、下記のとおり開館時間を通常時へ戻します

なお、附属図書館の開館日程および各サービスの実施状況は、今後も本学の行動指針に基づき変更する可能性があります。附属図書館ホームページ (<https://www.lib.hokudai.ac.jp>) を随時更新しておりますので、ご来館の際には最新の情報をご確認ください。

記

1. 開館日程を変更する日

令和4年5月16日（月）～

2. 開館時間

(1) 授業期間

平日：8:00～22:00 休日：9:00～19:00

(2) 試験期間

平日：8:00～22:00 休日：9:00～22:00

(3) 学生の休業期間

平日：9:00～19:00または9:00～17:00 休日：9:00～17:00

※開館日程の詳細は、北海道大学附属図書館開館予定表を参照

3. 感染拡大防止対策

原則として、以下の感染拡大防止対策へのご協力をお願いします。

- (1) 手指消毒（閉館後の消毒作業を中止しましたので各自で消毒をお願いします）
- (2) マスク着用
- (3) 会話禁止
- (4) 換気
- (5) ソーシャルディスタンスへの配慮
- (6) 一部施設の利用制限
- (7) 体調不良者の来館自粛
- (8) 来館者の体温測定
- (9) 健康観察記録携行

この件に関する問い合わせ先：

附属図書館利用支援課

本館閲覧担当 内線2990 service@lib.hokudai.ac.jp

北図書館担当 内線 5571 kitasv@lib.hokudai.ac.jp

TOEFL、TOEIC、IELTS のスコアの提供について

本学は、「Hokkaido ユニバーサルキャンパス・イニシアチブ」構想の下、大学の国際化と教育改革に取り組んでおり、その一取組として、学生の皆さんの英語力の向上を掲げております（目標値：TOEFL-iBT80 点相当以上の学生が学部生 50%、大学院生 80%）。

このため、本学における英語教育の効果の検証と上記目標値の達成に向けた方策を検討するために、学生の皆さんが受験した TOEFL 等の英語試験のスコアを広く把握することが必要となっております。

つきましては、学生の皆さんの英語試験のスコアを下記要領により提供くださるようご協力をお願いします。

なお、個人情報の管理には万全を期すとともに、提供いただいた情報は上記の目的のための統計資料として使用し、その他の目的には一切使用しません。

記

- (1) 対象の英語試験 : ①「TOEFL-iBT」「TOEFL-PBT」「TOEFL-ITP」
②「TOEIC 公開テスト」「TOEIC-IP」
※「TOEIC-S & W」「TOEIC-Bridge」は対象外
③「IELTS」

- ※ 新型コロナウイルスの影響によりオンラインで実施した試験のスコアも含まれます。
※ 大学（他大学含む）入学後に受験した英語試験に限る。ただし、以下の英語試験のスコアは、大学で把握済みのため提供いただく必要はありません。

- 令和2年度までに提出済のスコア
- 全学教育科目「英語 II」において受験した TOEFL-ITP
- 全学教育科目の英語単位「優秀認定」制度の申請時に提出したスコア
- 新渡戸カレッジのプレイスメントテスト・在籍確認テスト
- 交換留学申請のために提出したスコア
- 大学が受験料の大部分を負担（受験料 1,000 円）する学部上級学年・大学院学生向けの TOEFL-ITP 及び TOEIC-IP
- ○月の大学院修士課程入試の出願時に提出したスコア
- ○月の大学院博士課程入試で実施した TOEFL-ITP
- ○○プログラムで実施した TOEIC-IP

- (2) 提供方法 : スコアの写しを法学研究科・法学部教務担当へ提出